

令和4年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)										
I-2-(3)-② 技術・ 技能を 継承す る人材 の育成	1	⑧ ⑨ ⑩	明日の公共事 業を支える人 材確保・育成 事業	技術企 画課	建設業の若年就 業者の減少によ り、インフラの維 持管理に関する担 い手不足が懸念さ れるなか、建設技 術の魅力を発信 し、公共事業への 理解をより深める ことで、将来にわ たる建設業の人材 確保・育成を図 る。	建設業に対する関 心度（イベント参 加者アンケートに よる）	97% (H27年 度)	目標 80 %	実績 91 %	達成率 113.8 %	80 %	80 %	80%以 上 (R1年度 以降毎 年度)	2,351	1,967	2,234	5,400	順調	イベント参加者アンケートの結果、回答者の90%が建設業の仕事に興味を持ったと回答。 また、建設業の現場で活躍する若者や女性の姿を紹介するWebサイトにおいても、新たな技術者を掲載するなど、建設業の魅力を継続して発信できたことから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 建設業に対する関心度が90%であったため、「順調」と判断。 【課題】 将来にわたって建設業の人材確保・育成を行うには、一過性のものではなく、継続的で地道なイメージアップの取組が必要不可欠である。	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、令和6年度も継続して実施する。	
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情 報社会 への対 応	2	⑨ ⑩	公共工事関係 部署のDX推進 事業	技術企 画課	「デジタル市役 所」の実現向け て、公共工事に関 係する部署の発 注・契約・検査等 の様々な業務のデ ジタル化をより一 層推進する。	「公共工事関係部 署のDX推進プラ ン」（公表案）の 策定	—	目標 策定	実績 策定済	達成率 —	—	—	—	8,939	9,300	8,198	8,900	順調	「テレワーク実施率」については、達成状況が低調であるものの、その他の指標では概ね成果が認められるため、全体として「順調」と判断。	順調	【評価理由】 「インフラDX研修の受講者数」や「オンライン会議の実施率」が目標より上回っており、DX推進への関心が高まっていると考えられ、普及促進が認められる。よって、「順調」と判断。 【課題】 「テレワーク実施率」などについては達成状況が低調であるため、普及促進を引き続き行い、目標達成を目指していくことが求められる。	「公共工事関係部署のDX推進プラン」は令和7年度末までのプランである。各関係部署の取組の共有及びフォローアップを継続して行う必要があるため、引き続き事業を実施していく。	
						インフラDX (i- Construction) 研 修の受講者数(市 内建設業及び市技 術職員)	330人 (R3年 度)	目標 420 人	実績 510 人	達成率 121.4 %	660人 (R7年 度末)												
						技術研修のWeb活 用率	19% (R3年 度)	目標 27 %	実績 23 %	達成率 85.2 %	50% (R7年 度末)												
						オンライン会議の 実施率（技術関係 局）	19% (R3年 度)	目標 32 %	実績 50 %	達成率 156.3 %	70% (R7年 度末)												
						テレワーク実施率 （月1回以上実 施）	16% (R3年 度)	目標 32 %	実績 11 %	達成率 34.4 %	80% (R7年 度末)												
						紙の使用量（技術 関係局）	1400万 枚 (R2年 度用 品)	目標 1,200 万枚	実績 1,400 万枚	達成率 83.3 %	R2年度 比50%削 減（R6 年度 末）												

令和4年度 行政評価の取組結果（技術監理局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)								
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の地域活動への 参画促進	3	⑩	【施策評価のみ】 競争入札参加資格者に対する 加点制度	契約 制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事 における競争入札参加資格におい て、地元企業の地域での社会貢献活 動（子育て支援、男女共同参画、障 害者雇用、環境配慮、防災活動な ど）を評価し、格付けの際に加点す ることにより、契約制度の面からも 本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給 契約入札参加資格 業者総数に対する 評価対象事業者数 の割合	目標	29 %	29 %	29% (R5年 度)	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 目標を達成しており「順 調」と判断。	引き続き加点制度を実施す る。		
							実績	30 %	29 %												
							達成率	103.4 %	100.0 %												
						【施策の指標】 本市の建設工事入 札参加資格業者総 数に対する評価対 象事業者数の割合	目標	49 %	49 %	49% (R5年 度)											
							実績	50 %	49 %												
							達成率	102.0 %	100.0 %												
V-3-(1)-① 都市基盤・施設 の適正な整備	4	⑧	公共工事安全 対策強化事業	検査 課	市が実施する公 共工事の安全対策 強化のため、安全 指導を専門とする 公共工事パトロー ル隊を設置し、事 故の抑制を図る。	工事成績評定点の 評価項目の内、 「安全対策」につ いて100点満点に 換算した点数	目標	75 点 以上	75 点 以上	75点以 上 (R5年 度)	897	953	820	28,400	順調	労働災害や公衆災害は無く なっていない（令和4年度： 25件）が、公共工事パトロー ル時の安全指導や出前講演等 の安全研修によって工事関係 者の安全意識は向上してい る。また、工事成績評定点の 安全対策の点数も目標を概ね 達成しているため、「順調」 と判断。	順調	【評価理由】 公共工事パトロール時の安 全指導等によって、市が実施 する公共工事の安全対策の強 化が図られているため、「順 調」と判断。 【課題】 工事関係者の不注意や確認 不足などを原因とする労働災 害や公衆災害は未だ発生して おり、事業者への指導に加 え、工事に従事する一人ひと りの安全意識の更なる向上を 図る必要がある。	公共工事における重大事故 の発生を抑制し、市民と工事 関係者の安全と健康を確保す るため、引き続き、市が実施 する公共工事関係者への安全 指導や安全研修を実施する。		
							実績	74.7 点	73.6 点												
							達成率	99.6 %	98.1 %												
							【施策の指標】 建設廃棄物の再資 源化率	目標	98 %											98 %	98% (毎年 度)
								実績	99.3 %											99.5 %	
								達成率	101.3 %											101.5 %	
Ⅵ-3-(3)-② 建設リサイク ルの推進	5	⑨ ⑫	【施策評価のみ】 建設リサイク ルの推進	技術 支援課	【施策の内容】 北九州市発注の 公共工事を対象 に、建設副産物の 発生抑制や建設廃 棄物の再資源化の 徹底、再資源化さ れた建設リサイク ル資材の利用促進 に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資 源化率	目標	98 %	98 %	98% (毎年 度)	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 令和3年度に引き続き令和4 年度も目標を達成したため、 「順調」と判断。	令和4年度に引き続き、建 設廃棄物の再資源化率の目標 達成を目指す。		
							実績	99.3 %	99.5 %												
							達成率	101.3 %	101.5 %												